



# 帝京平成大学 オープンキャンパス

## 薬学部

楽しく学ぼう！

2016 07 31

---

模擬授業  
体験実習  
オープンラボ  
ガイド

# 薬学部・オープンキャンパス タイムスケジュール

10:00      11:00      12:00      13:00      14:00

## ◆ 全体説明、学科説明、模擬授業（303教室 3階）

10:30                          12:00

## ◆ 薬剤師の軟膏調剤を体験してみよう！

（調剤実習室 3階318）

1回目12:00-13:00 2回目13:00-14:00

## ◆ オープンラボ（専門ラボ6 4階416）

「体の中のいろいろな組織、細胞を見てみよう」

11:00    14:00

## ◆ オープンラボ（専門ラボ7 4階415）

「細胞の中をのぞいてみよう」

11:00    14:00

## ◆ 学生交流・進学相談(アリーナ薬学部ブース 5階)

「薬学のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう」

11:00    14:00

### その他（全学部共通）

学食体験	11:00-14:00	（学生食堂 1階）
入試相談	11:00-14:00	（502教室 5階）
学生生活相談	11:00-14:00	（531教室 5階）
宿舎相談	11:00-14:00	（501教室 5階）

**模擬授業** (11:20-12:00)  
303教室 (3階)

**注意！流行性感染症に  
気をつけよう！**

・ 現在世界ではどのような感染症が流行しているのでしょうか？巷で流行している感染症を取り上げ、その発症メカニズムや原因、治療法などについての知見をご紹介します。



助教 金 憲誠

(きむ・ほんそん)

なんでも不思議に思って  
そして考える習慣を身に  
つけるといいよ。

神戸大学大学院自然科学研究科修了、博士（理学）、理化学研究所神戸研究所・研究員、関西学院大学理工学研究科生命科学科・博士研究員を経て現在帝京平成大学薬学部にて生物系実習の講義を担当しています。

## 体験実習

# 薬剤師の軟膏調剤を体験してみよう！

会場・時間

316調剤実習室（3階）

第1回12:00～13:00/第2回13:00～14:00

- 薬剤師が処方箋に基づく調剤や製剤を行う場合に取り扱う薬物には、錠剤、散剤、水剤、外用剤などいろいろな剤形があります。
- 調剤においては、製品をそのまま使用する場合と、複数の薬剤を混合して容器に充填するなど調製が必要な場合があります。
- 今回は、軟膏をへらを使って混合し、容器につめてみましょう！

- 担当教員 薬学臨床教育研究センター  
地域健康管理学ユニット 清野 敏一

薬剤調製時には、マスクとキャップを装着しましょう！  
マスクは顎まで覆います。



キャップは耳までかぶせましょう！

病院薬学ユニット 栗林 和美

# オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！

体の中のいろいろな組織、細胞を見てみよう

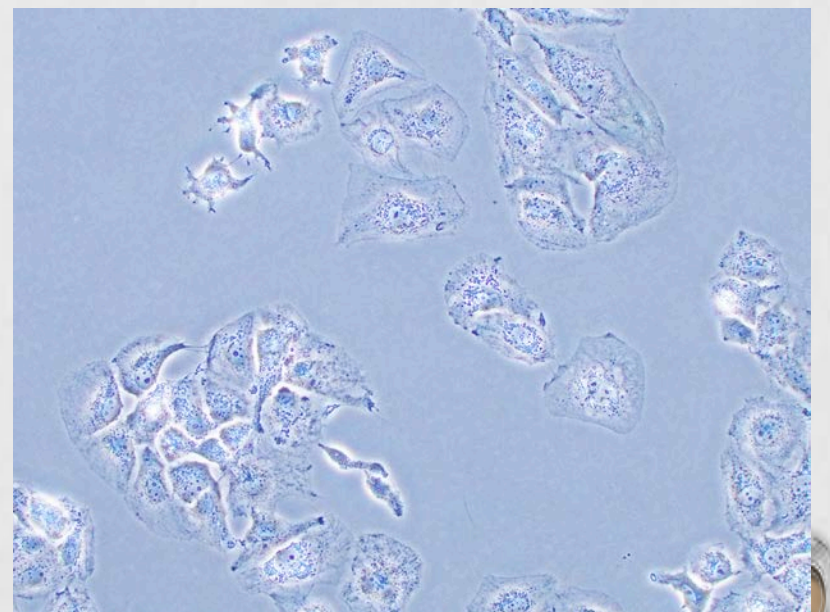
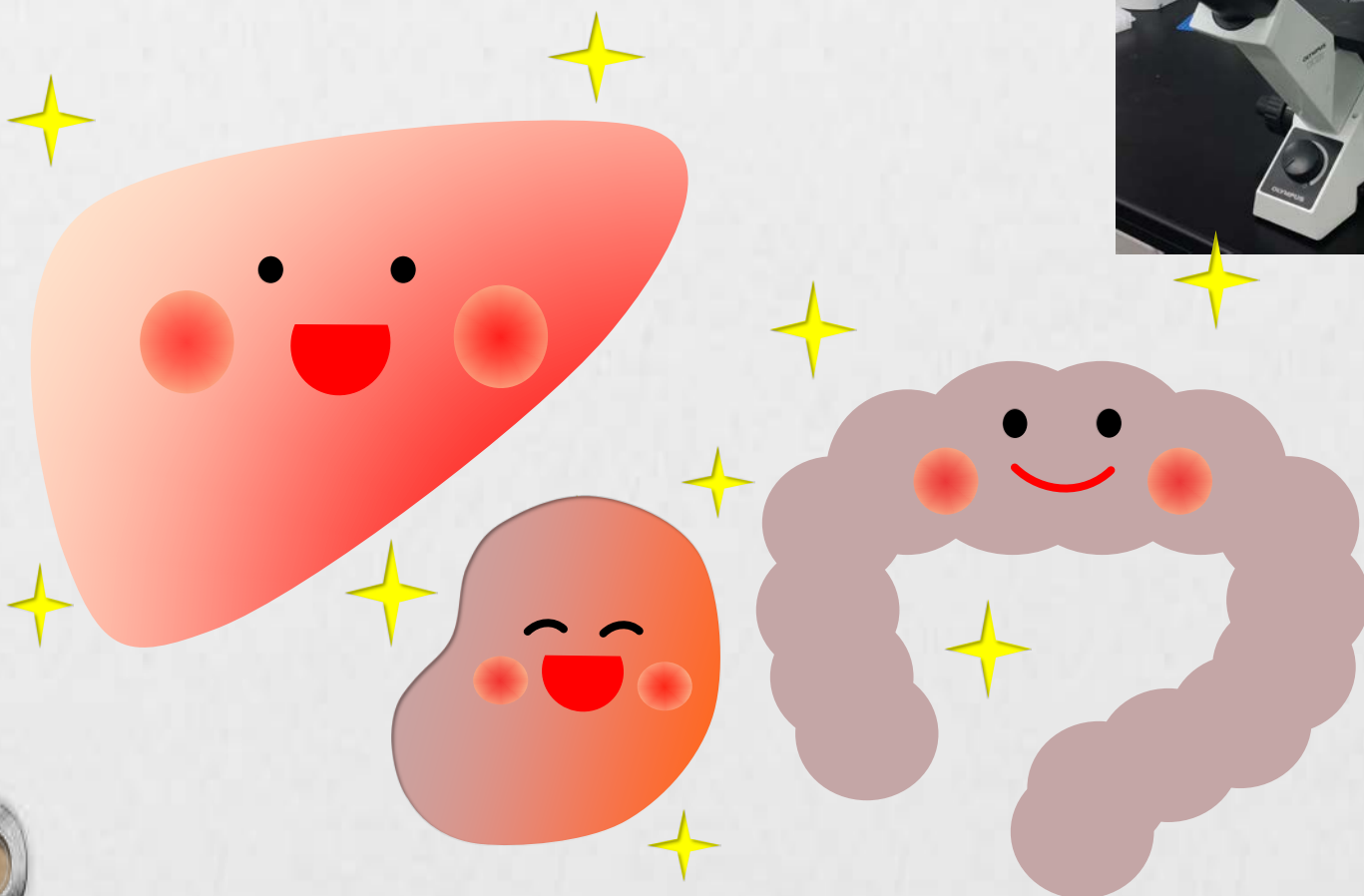
会場・時間

専門ラボ6 (4階416) 11:00~14:00  
(見学随時)

- 私たちの体の中には、肝臓、腎臓、腸など様々な臓器や組織があり、それぞれに固有なはたらきや構造をもっています。これらの組織は、違った性質を持つ様々な細胞から形づくられています。
- 薬の作用や体の中での運命を学ぶ上で、これらの細胞について理解することは非常に重要です。オープンラボでは、顕微鏡を使っていろいろな組織や細胞を観察してみましょう！

担当教員

薬物動態学ユニット 堀江利治  
薬物動態学ユニット 中埜貴文



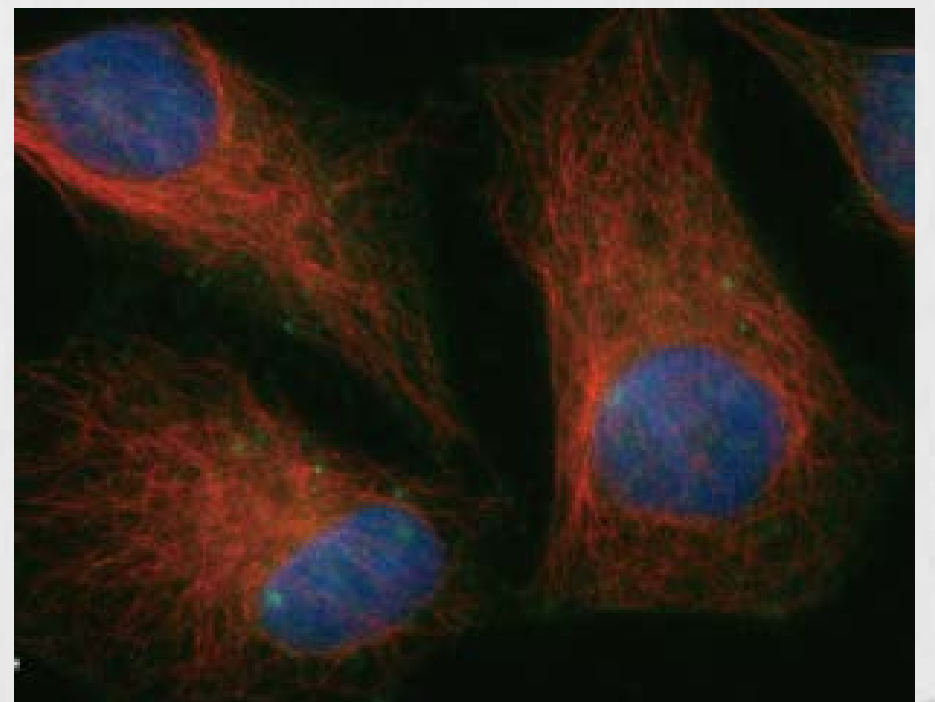
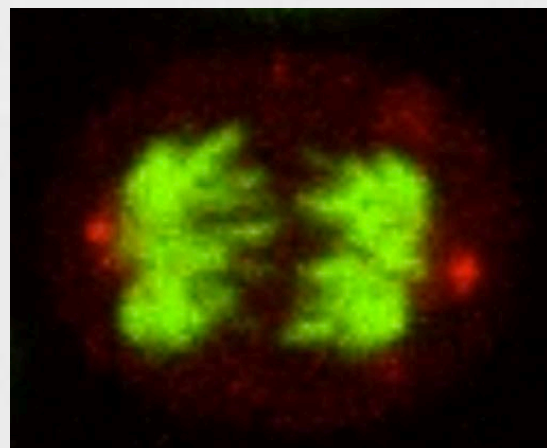
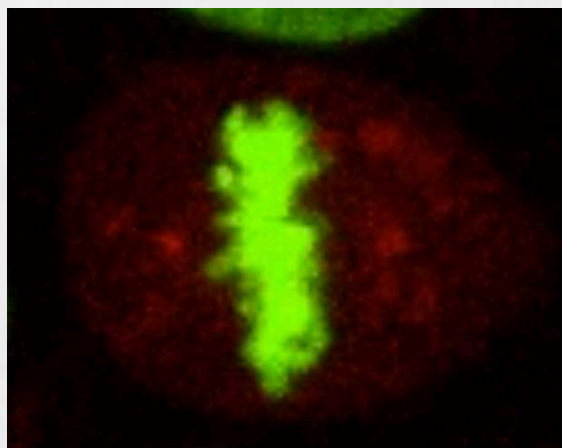
# オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！  
細胞の中をのぞいてみよう

会場・時間

専門ラボ7 (4階415) 11:00~14:00  
(見学随時)

- 私たちヒトの体は一つの細胞（受精卵）が何度も分裂を繰り返し、60兆個もの細胞でできています。細胞の分裂は全ての生き物にとってもっとも基本的で重要な現象です。
- 細胞分裂が正しく起こらないと様々な疾患を引き起こします。その仕組みを正しく理解することがこれらの疾患の予防・治療に繋がると考えられています。
- 細胞分裂は非常に複雑かつダイナミックな現象です。オープンラボでは細胞分裂の様子を高性能顕微鏡でとらえた映像をお見せします。細胞内ではどんなことが起こっているのかをのぞいてみましょう！



## 担当教員

分子細胞制御研究ユニット 金憲誠

細胞生化学研究ユニット 辻本雅文